



東稲ニュース

第 106 号

早稲田大学校友会東久留米稲門会

令和元年 5月10日発行
発行責任者 高橋 哲男
編集責任者 小山田朋樹
E-mail: bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
http://higashikurume-toumonkai.com/
事務局 大矢 真弘 Tel042-475-8532

東久留米稲門会第 25 回定時総会報告 (2019 年 4 月 21 日開催)

2019 年 4 月 21 日(日)午後 2 時より成美教育文化会館で文化講演会、定時総会及び懇親会が開催されました。文化講演会には一般参加者を含め約 90 名の参加があり、定時総会・懇親会には東久留米市並木市長をはじめ大学代表者と近隣稲門会からの来賓 12 名と会員 57 名が参加しました。

<第 1 部> 文化講演会

東久留米稲門会第 25 回定時総会に先立ち、文化講演会が開催されました。成美教育文化会館 1 階ギャラリーで会員、来賓、一般参加の方々約 90 名が参加されました。講演のタイトルは「近年の地震と耐震技術から地震防災を考える」、講師は当会会員の横田治彦氏(工学博士、一級建築士)でした。スライドと振動模型を使った 1 時間半の講演の後、短い時間でしたが活発な質疑がありました。地震と建物の耐震、防災は身近な関心事でもあり、総会後の懇親会場では、講演会場では聞けなかった話題について会話が弾みました。講演の概要を横田さんに簡単にまとめていただきました。

「近年の地震と耐震技術から地震防災を考える」

この 100 年間の地震と被害を考えると、大震災と呼ばれた 3 地震があります。1923 年関東地震(関東大震災)、1995 年兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)、2011 年東北地方太平洋沖地震です。さらに、最近 50 年では被害の大きい地震が多発し、日本列島が世界でもまれにみる地震の多い場所に位置していることを実感します。建築の立場から地震と耐震基準の歴史を振り返り、耐震基準の強化や対策技術を紹介しました。東北地方太平洋沖地震と熊本地震の地震、地震動、被害を概観し地震防災について考えました。

大きな被害地震が起こると、「まさかこの地域にこんなに大きな地震が起こるとは思っていなかった」という言葉を聞きますが、「天災は忘れた頃にやってくる」のとおり、過去の記録・歴史を調べればほとんどの地域で過去に大きな地震が起こっています。平成は自然災害の多かった時代と総括されますが、阪神淡路大震災が 24 年前に発生し、長い間大きな地震を経験しなかった日本列島が地震の活動期に入ったと考えられるようになりました。約 100~200 年に一度発生する日本海溝沿いの巨大地震である東海、東南海、南海地震の発生と、その前後に起こる内陸の地震に備えなければならない時期が到来したと考えられています。首都圏直下の地震もいつ起こるか分からず、日頃からの備えが必要です。首都圏に大きな被害をもたらす M8 クラスの関東地震は発生間隔が 200~400 年程度と考えられており、1923 年の関東地震から間もなく 100 年を迎える現在では発生確率が比較的低い評価となっています。しかしながら、M7 クラスの内陸直下地震に対しては長期間発生していないことから常に警戒を怠らないことが大切だと考えられます。首都圏の地震防災計画ではこのタイプの地震を対象にすることが一般的です。

東久留米市は武蔵野台地に位置し、低地には河川の運んだ土砂泥からなる沖積層がありますが、全体的には表層のローム層とその下部の武蔵野礫層、さらに下には上部東京層と続く比較的良好な地盤上にあります。私たちにできることは、首都直下の地震はいつでも起こる可能性があることを考えての心構えと、自助・共助を心がけることだと思います。自分でできる対策として家屋の耐震化は大切ですが、家具の固定、転倒対策だけは是非実行して下さい。

横田 治彦 記



講師の横田治彦氏(東久留米稲門会会員)

＜第2部＞ 第25回定時総会

会長挨拶

木々の緑も色鮮やかになってまいりましたが、皆様は、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。本日は、東久留米稲門会第25回定時総会にご出席いただきまして有難うございます。また、来賓の東久留米市長、早稲田大学及び近隣稲門会の皆様ご多忙の中、ご臨席を賜りましてお礼申し上げます。

さて、今年3月に早稲田アリーナが完成しましたが、篤志家の方及び皆様のご協力により、この寄付金において多摩支部のトップとなり、当会の銘飯は中央に配置されております。地域担当副部長河口様も安堵されていることと思います。

会長就任後会員、役員に支えられて2年経過し、私も同様ですが、稲門会活動には家族の協力が必要と感じられました。特に諸先輩と10数年交流していると、奥様への依存度が高くなりつつなるように思われます。奥様をはじめ、ご家族皆様へお礼を申し上げます。また、今回の記念品についてもご負担をかけましたが、各行事につきましては女性役員・会員に助けられており、お礼を申し上げるとともに今後ともよろしく願います。

今般役員が改選されましたが、引き続き宜しくお願い申し上げます。

平成30年度の会員は会費納入ベースで147人と150名を切りました。これまで会員数の増加と部会活道の活性化に取り組んできましたが、まだまだ結果に繋がっておりません。今年も、会員数の増加と部会活動の活性化のために、年に何回か校友に対して部活動の開催案内を届け、参加依頼をする予定です。現在の会員においても部活動に興味をもち、入会した人が多数おります。部会長他部会の皆様、開催案内につきましては、宜しくご協力願います。また、部活動に参加している会員以外の方の準会員としての入会等諸施策を検討してまいります。高橋二代会長が基盤をつくった部活動を存続、拡充させて、会員の増加へ繋げていきたいと思っております。令和まで本日を含めて10日になりましたが、稲門会においてよい時代になるよう、役員一同努めて参りますので宜しくご支援願います。

高橋 哲男 記



高橋哲男 東久留米稲門会会長

| | | |
|----|-----------------|-------|
| 会 | 日薫稲門会 | 東京メトロ |
| 会 | 早稲田大学校友会東京三多摩支部 | ちばき |
| 会 | 東久留米稲門会 | 自民党 |
| 門会 | 武蔵野稲門会 | 愛知県 |

早稲田アリーナ 銘板



並木克巳 東久留米市長

治総長は「世界に輝く早稲田」を目指し、「教育」「研究」「社会への貢献」という3つの柱を地道に努力する旨、教職員一同に呼びかけている

定時総会報告

定時総会は小野副会長の司会で開会、高橋会長より来賓の紹介の後、開会の挨拶があった。引き続き、来賓を代表して東久留米市並木市長から、常日頃からの市民への文化活動に対する感謝の挨拶があり、市が抱える問題の高齢化対策、施設の老朽化対策等について、稲門会の皆様の知恵をお借りし、東久留米を元気にしていきたいとの挨拶があった。

早稲田大学地域担当の河口副部長からは、総会への祝辞と早稲田大学の近況報告があり、昨年新たに選出された田中愛



河口俊二 早稲田大学副部長

等の話があった。続いて議事に入り、高橋会長を議長に選出し、以下の内容が承認可決された。

- ①2018 年度事業報告 ②2018 年度収支決算報告
- ③2018 年度収支決算監査報告 ④2019 年度事業計画
- ⑤2019 年度収支計画 ⑥役員改選

引き続き、当会会員で大学卒業 60 年を超えた皆様にお祝いの記念品として、東久留米稲門会の名入れマグカップの贈呈式が行われた。

大矢 真弘 記



記念品の贈呈を受ける安藤会員

【新役員体制】

| | | | | | |
|-------|-------|-----|--------|------|--------|
| 会 長 | 高橋哲男 | 幹 事 | 河村洋子 | 幹 事 | 片平るみ |
| 副会長 | 村野建彦 | 〃 | 坂井淑晃 * | 〃 | 石寺美弥子 |
| 〃 | 小野泰右 | 〃 | 吉田清郎 | 〃 | 船津高志 |
| 〃 | 小山田朋樹 | 〃 | 中村敏明 | 〃 | 呉 淳久 |
| 〃 | 山岡恭子 | 〃 | 横田治彦 | 〃 | 前川初子 * |
| 事務局長 | 大矢真弘 | 〃 | 別処尚志 | 〃 | 有賀千歳 * |
| 事務局次長 | 山口謙二 | 〃 | 金子孝司 | 会計監事 | 塚越 崇 |
| 会計 | 清水正弘 | 〃 | 長束輝夫 | 〃 | 吉川明美 |

(*は新任 退任役員:幹事 後藤秀作)

<第3部> 懇親会

16 時 45 分、懇親会が 3 階大研修室にて開催された。司会は大矢事務局長。高橋会長挨拶、内田貞司清瀬稲門会会長と篠田知成東久留米三田会会長のご祝辞、帆角第 3 代会長の乾杯でスタート。記念マグカップを総会でお渡しできなかった方々への贈呈や、新任役員の紹介が行われた。会場は和やかな雰囲気になって、あちらこちらで話の輪が広がって行った。楽しい歓談が続き、宴もたけなわの頃、会はフィナーレへ。平山第 5 代会長による閉会の辞、続いて恒例の大矢事務局長リード&大島会員のハーモニカ伴奏により、一同校歌を斉唱。和気あいあいとした雰囲気のまま、会は終了した。 山岡 恭子 記



懇親会にてご挨拶を頂いた、内田清瀬稲門会会長(左上)、篠田三田会会長(左下)、

帆角元会長(下右)による乾杯の後、ご来賓の皆様と歓談

平成30年度決算／2019年度計画(概要)

平成30年度収支決算、および2019年度収支計画が下記のとおり総会において承認されました。

平成30年度 東久留米稲門会収支決算書

2019年度 東久留米稲門会収支計画

| 〔収入の部〕 | | | | 2019年度 | | | 摘 要 |
|-----------|-------------|-------------|---------------------------|---------------|------------------------|------------------------|----------------|
| 項 目 | 30年度 | | | 2019年度 計画③ | 2018年度 対計画 (増・減) | 2018年度 対実績 (増・減) | |
| | 30年度 計画① | 30年度 決算② | 予算-実績 (+は余剰) (-は不足) | | | | |
| 年 会 費 | 465,000 | 441,000 | -24,000 | 465,000 | 0 | 24,000 | 会員155名を見込み |
| 組織強化補助金 | 252,000 | 252,000 | 0 | 252,000 | 0 | 0 | 前実ベース |
| 雑 収 入 | 20,000 | 120,006 | 100,006 | 20,000 | 0 | -100,006 | 祝儀4件 |
| そ の 他 収 入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (特)懇親会余剰金見込まず) |
| (収入計) | 737,000 | 813,006 | 76,006 | 737,000 | 0 | -76,006 | |
| 前年度繰越金 | 731,774 | 731,774 | 0 | 876,882 | 145,108 | 145,108 | |
| (合 計) | 1,468,774 | 1,544,780 | 76,006 | 1,613,882 | 145,108 | 69,102 | |

〔支出の部〕

(単位 円)

| 項 目 | 30年度 | | | 2019年度 計画③ | 2018年度 対計画 増・減 | 2018年度 対実績 増・減 | 摘 要 |
|--------------------------|-------------|-------------|---------------------------|---------------|----------------------|----------------------|-----------------------|
| | 30年度 計画① | 30年度 決算② | 予算-実績 (+は超過) (-は余剰) | | | | |
| 総 会 費 | 80,000 | 73,430 | -6,570 | 80,000 | 0 | 6,570 | 講演料,会場費、他 |
| 通 信 費 | 50,000 | 43,631 | -6,369 | 55,000 | 5,000 | 11,369 | 前実、サーバーレンタル料 |
| 印 刷 費 | 70,000 | 74,045 | 4,045 | 40,000 | -30,000 | -34,045 | 東稲ニュース,会員名簿等 |
| 消 耗 品 費 | 60,000 | 47,164 | -12,836 | 40,000 | -20,000 | -7,164 | |
| 近 隣 稲 門 会 校 友 会 交 流 費 | 80,000 | 75,000 | -5,000 | 85,000 | 5,000 | 10,000 | 交流稲門会祝儀・三多摩 総会・会長会 |
| 交 通 費 | 30,000 | 33,500 | 3,500 | 35,000 | 5,000 | 1,500 | 前実ベース(市外の役務) |
| 部 会 補 助 金 | 100,000 | 110,000 | 10,000 | 100,000 | 0 | -10,000 | (10部会)旅行部会→映画 鑑賞会 |
| イ ベ ン ト 補 助 金 | 70,000 | 21,127 | -48,873 | 50,000 | -20,000 | 28,873 | イベント会場費4.5万 |
| 寄 付 金 | 80,000 | 80,412 | 412 | 80,000 | 0 | -412 | 補助金確保要件 |
| 会 議 費 | 20,000 | 4,740 | -15,260 | 15,000 | -5,000 | 10,260 | 会議室賃料 |
| 雑 費 | 10,000 | 2,449 | -7,551 | 10,000 | 0 | 7,551 | 前実(送金費など) |
| 弔 慰 金 | 0 | 42,400 | 42,400 | — | — | — | |
| 予 備 費 | 80,000 | 60,000 | -20,000 | 140,000 | 60,000 | 80,000 | 2019年度 諸計画費用など |
| (支出計) | 730,000 | 667,898 | -62,102 | 730,000 | 0 | 62,102 | |
| 次年度繰越金 | 738,774 | 876,882 | 138,108 | 883,882 | 145,108 | 7,000 | |
| (合 計) | 1,468,774 | 1,544,780 | 76,006 | 1,613,882 | 145,108 | 69,102 | |

注記:次年度繰越金と現預金残高、前受金等の関連説明

| | | 決算額 | |
|--------|-----|-----------|----------|
| 現 金 | [+] | 0 | なし |
| 預 金 | [+] | 1,083,882 | 3月31日現在 |
| 前受金 | [-] | 207,000 | 2019年度会費 |
| 次年度繰越金 | | 876,882 | |

(監査報告)

東久留米稲門会規約 第7条の規定に基づき、平成30年度の決算書類について監査の結果適正なることを認めます。

平成31年4月2日

東久留米稲門会 会計監事 吉川 明 美 (印)

会計監事 塚 越 崇 (印)



恒例の大島さんのハーモニカ伴奏、大矢事務局長によるリードで「校歌」

定時総会・懇親会出席者（敬称略）

【来賓】

東久留米市：並木克巳（市長）、早稲田大学：河口俊二（地域担当副部長）、
 東久留米三田会：篠田知成（会長）、大野貴志夫（前会長）、清瀬稲門会：内田貞司（会長）、西村進（幹事）、小平稲門会：栗原政博（会長）、大島二典（幹事長）、西東京稲門会：古賀良郎（会長）、高橋隆門（副会長）、東村山稲門会：山本岩男（副会長兼事務局長）、高橋文子（幹事）、

【会員】

安次峰暁、鮎貝盛和、有賀千歳、安藤信雄、井坂宏、石寺美弥子、伊東毅、上田敦嗣、栄田卓弘、栄田征子、大島勝典、大矢真弘、岡田潔、岡野幸子、小野泰右、小山田朋樹、梶井琢太、片平るみ、金子孝司、川上昇一、河村洋子、神田尚計、吉川明美、後藤秀作、國米家巳三、小牧完次、坂井淑晃、酒井正敬、佐藤一郎、佐藤雄二、清水正弘、杉本達夫、高橋哲男、橘優治、辰巳徳蔵、塚越崇、東海俊孝、中村敏明、長束輝夫、長谷山勝美、馬場清彦、比護喜一郎、菱山房子、平山正徑、船津高志、別処尚志、帆角信美、前川初子、松崎博、三浦洋子、武藤豊、村野建彦、山岡恭子、山口謙二、横田治彦、吉田清郎、渡辺真司（57名 順不同 敬称略）

会の告知板

【部会予定】

| | | | |
|----------------|-----------------------------|------------|----------|
| 5月13日(月) | ウォーキング & 山歩き部会「第15回甲州街道を歩く」 | 09:00 | 東久留米駅改札口 |
| 5月30日(木) | 映画鑑賞会『汚れなき悪戯』 | 14:00 | 成美教育文化会館 |
| 6月1日(土) | 野球早慶戦観戦部会 | 10:25 | 東久留米駅改札口 |
| 6月2日(日) | 令和元年度第1回役員会 | 16:00 | 生涯学習センター |
| 6月9日(日)・10日(月) | バドミントン部会合宿（北杜市） | <詳細未定> | |
| 6月14日(金) | ゴルフ部会「三田会合同コンペ」 | <飯能グリーンCC> | |
| 6月17日(月) | ウォーキング & 山歩き部会「早大所沢キャンパス見学」 | 08:30 | 東久留米駅改札口 |
| 7月8日(月) | ウォーキング & 山歩き部会「入谷鬼子母神 朝顔市」 | <詳細未定> | |
| 9月26日(木) | 映画鑑賞会（上映作品未定） | 14:00 | 成美教育文化会館 |

【大学・校友会関係】

| | | | |
|-----------|---------------|--------|-----------|
| 6月16日(日) | 清瀬稲門会総会 | 13:30 | 清瀬アミューホール |
| 6月16日(日) | 西東京稲門会総会 | 13:00 | 東伏見キャンパス |
| 8月18日(日) | 三多摩支部会長会 | 15:00 | 青梅市福祉センター |
| 9月28日(土) | 秋季代議員会 | <詳細未定> | |
| 10月12日(土) | 小平稲門会総会 | 11:00 | ルネ小平 |
| 10月20日(日) | 稲門祭・ホームカミングデー | <詳細未定> | |

<各部会定例活動一覧>

| 部会 | 5月 | | | | 6月 | | | |
|--------|-----|---|-------------|--------------|-----|---|-------------|--------------|
| | 日 | 曜 | 時間 | 場所 | 日 | 曜 | 時間 | 場所 |
| 女性カーク | 23 | 木 | 10:00~ | 佐伯祐三アトリウム | 13 | 木 | 10:00~ | 中央町地区センター |
| 書道 | 12 | 日 | 13:00~ | 生涯学習センター | 9 | 日 | 13:00~ | 生涯学習センター |
| 俳句 | 19 | 日 | 13:00~ | 中央町地区センター | 16 | 日 | 13:00~ | 生涯学習センター |
| 囲碁 | 26 | 日 | 13:00~ | 成美教育文化会館 | 23 | 日 | 13:00~ | 成美教育文化会館 |
| 太極拳 | 11 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 | 8 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 |
| | 18 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 | 15 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 |
| | 25 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 | 22 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 |
| バドミントン | 毎週金 | | 10:30~ | 東久留米スポーツセンター | 毎週金 | | 10:30~ | 東久留米スポーツセンター |

会の報告

◎役員会報告 2019年度臨時役員会が4月7日(日)16時より生涯学習センターで開催された。

<議事録概要>

1. 第25回定時総会について(成美教育文化会館、ギャラリー・大研修室)

(1) 文化講演会 4月21日(日)14:00~15:30 司会 大矢 講師 横田治彦氏

講演名「近年の地震と耐震技術から地震防災を考える」

(2) 定時総会 15:40~16:30 司会 小野副会長 議長 高橋会長

(3) 懇親会 16:45~18:30 司会 大矢事務局長

(4) 定時総会などの準備

①総会資料印刷及び袋詰め作業 4月14日(日)16:15~17:15 生涯学習センター 学習室4

・・・ 書道部の活動の後 100部印刷予定、ホチキス等の準備

②役割分担 ・会場準備(定時総会、懇親会両会場):責任者は小野副会長、大矢事務局長

・受付(定時総会・懇親会):山口、河村、中村、山岡、長東(受付名簿:大矢)

*受付は開始時刻に終了し、講演会、懇親会に参加できるようにする。

・名札:小山田、大矢 ・校旗:大矢 ・看板(定時総会、講演会、懇親会):大矢

・ケータリング、酒等の手配:大矢 ・講演者へのお礼:清水

・来賓手土産の手配(大学代表者と市長へ):吉川 ・写真:清水・小山田

③当日集合時間 12時30分

(5) 事業計画、予算案について:会計の清水氏より、資料に基づき説明があった。

(6) 次年度総会日程について:

2020年4月18日(土)を第一候補とし、予約状況で4月26日(日)の可能性もある。

*東久留米三田会総会 4月25日(土)に開催

2. 幹事長・事務局長会議・代議員会の報告:山口事務局次長より、報告があった。

3. 組織強化補助金について:本年度も継続するので申請をする。寄付する部は、2019年から体操部→ソフトボール部→ボクシング部とする。

4. 広報関係:東稲ニュース 編集案概要と原稿執筆依頼 小山田編集責任者より、資料に基づき説明があった。新たに編集委員として3名を迎え、号毎に編集会議を行い企画等を検討することになった。なお、原稿締め切りは4月25日(木)、印刷日は5月8日(水)とした。

5. その他

・近隣稲門会等について

| | | | |
|---------|-----------|-------------------|-------------|
| 三田会総会 | 4/20 (土) | 成美教育会館 | 高橋・山岡 |
| 清瀬稲門会 | 6/16 (日) | 清瀬アミューホール | 小野・山口 |
| 西東京稲門会 | 6/16 (日) | 東伏見キャンパス | 高橋・大矢 |
| 三多摩会長会 | 8/18 (日) | 青梅市福祉センター | |
| 小平稲門会 | 10/12 (土) | ルネ小平 | |
| 三多摩支部大会 | 11/10 (日) | 青梅市福祉センター | 高橋・村野・小山田 他 |
| 東村山稲門会 | 11月下旬 | サンパルネ・コンベンションセンター | |

- ・映画鑑賞会について：次回、5/30(木)「汚れなき悪戯」 受付等：山口・高橋・河村・小野
その後は9/26(木)・11/28(木)に開催。
- ・卒業後60年の方で総会欠席者へ、マグカップをどのように渡すか、後日検討する。
- ・稲門祭担当の中村氏、吉田氏よりグッズ販売の目標金額が14万円なので、よろしくお願ひしたいとの依頼があった。
- ・早稲田学報へ、総会、秋の旨いもの会、新年会の報告を出すこととした。

◎校友会幹事長事務局長会 3月9日(土)14:00~15:30 於)大隈小講堂

1. 校友会代表幹事挨拶：早稲田アリーナ募金20億円達成
2. 2019稲門祭 ①実行委員長 瀬古利彦氏 ②10月20日(日)開催 ③テーマ「走れ!! WASEDA—世界へ未来へ襷(たすき)をつないで—」
3. 2019年度校友会組織強化補助金：当会は252,000円(昨年と同額)
4. 2020年代議員・商議員改選：新役員任期2020年6月1日~2024年5月31日
5. WASEDA'S Health Study 登録状況：当会 2019年2月1日時点26名。
40歳以上校友会員(795名)に占める割合3.3%(3%の目標達成)
6. Vision 150 特別委員会報告：演奏旅行2019年8月22日~九州方面6泊 山口 謙二 記

◎春季代議員会 3月9日(土)16:00~17:45 於)大隈講堂

1. 会長(総長)挨拶：田中総長代議員会初出席。「Vision150 世界で輝く早稲田：世界でトップクラスの大学」を目指す。(1930年代アメリカの大学はヨーロッパの大学の後塵を拝していたが、1970年代にキャッチアップ。目標を持って時間をかけて地道に努力したとの事です)
2. 代表幹事挨拶(内容省略)
3. 協議事項 ①2018年度活動報告・決算予想 ②2019年度活動計画・予算編成
4. 報告事項(9項目あるも幹事長会と重複するものあって内容省略)
(2名質問者が立ったが、田中総長は極めて丁寧に回答されていて、会終了予定時刻を15分ほど超過。会場では好感が持てるという声があちこちで聞こえました) 山口 謙二 記

◎東久留米三田会講演会・懇親会について

平成31年4月20日(土)14時30分より東久留米三田会講演会・懇親会に高橋会長、山岡副会長が出席した。講演会は慶応大学駒形哲哉経済学部教授が講師でテーマは「中国経済の行方」~米中貿易戦争の先にあるもの~で非常にわかりやすく丁寧な講演でまとめは、(1)米中貿易戦争は第二次東西体制「冷戦」の始まりか?(2)提起される問題として、①急速に変化する経済環境の中で日本はどうするか、②既存の民主主義・資本主義体制は国家資本主義に勝てるのか、であった。

講演会の来場者は約45名、三田会懇親会も約40名で、会員は30名以下、会長からは、会の設立当初と今回出席者は、変わらない。会員数も110名から90数名に減少しており、会員数の増加が喫緊の課題であるとのことであった。今回は役員改選で会長は篠田知成氏、幹事長は島崎孝氏が選出された。

高橋 哲男 記

部会報告

＜書道部会＞ ・・改元にあたり「令和」の“書”を武藤部会長から頂きました・・

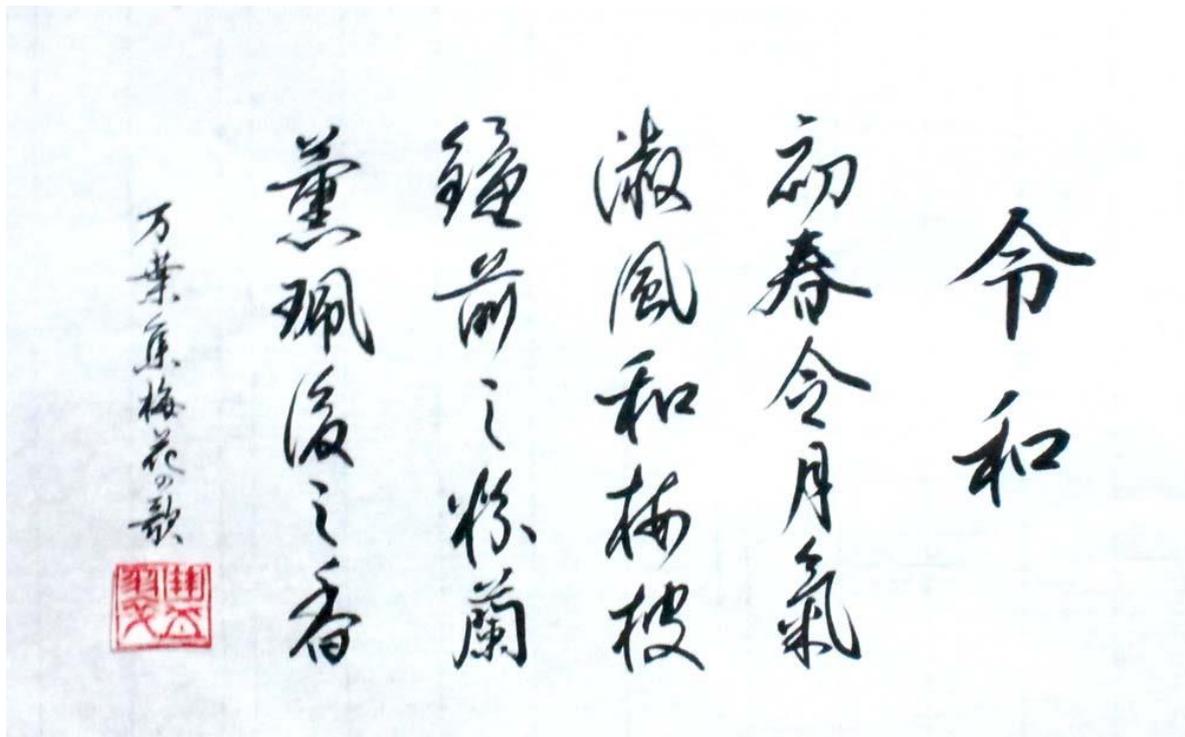
「平成」から新元号「令和」となり新しい時代が始まりました。この2字と「令和」の由来の万葉集梅花の歌の序文“初春令月、氣淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香”を格調高く、書道部会長の武藤先生に依頼して、楷書と行書で書いて頂きました。
(書：武藤 豊【号：豊翠】)



楷書の「令和」



行書の「令和」



新元号「令和」の由来：万葉集の梅花の歌の序文から、令、和、を引用

「初春令月、氣淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香」

読み：初春(しよしゅん)の令月(れいげつ)にして、氣淑(よ)く風和(やわら)ぎ、梅は鏡前(きょうぜん)の粉(こ)を披(ひら)き、蘭(らん)は珮後(はいご)の香(こう)を薫(かお)らす

訳：時は初春の良き月、空気は美しく風も和やかで、梅は鏡の前の美女が装うように白く咲き、蘭は身に帯びた香りのように香っている

※「珮後(はいご)」とは：珮(はい)というのは奈良時代に礼服につけた古代の装飾品。珮後というのは珮という装飾品の後ろという意味

武藤 豊 記

<グルメ部会> 3月11日(月) 第30回グルメ会報告

平成31年3月11日(月)、昨夜来の嵐の名残が残る中、午前9時東久留米駅改札口に参加者20名全員が一人も遅れずに集合、練馬乗り換えの大江戸線で門前仲町へ、目的地に10時20分に到着した。さわやかな朝空のもと、深川不動尊にお参り、続いて富岡八幡宮へ、ここでは参拝の後、横綱力士碑、大神輿、伊能忠敬像などを見学しながら境内を約1時間散策した。

11時30分いよいよ「深川あさり蒸籠めし・門前茶屋」での昼食会開始。料理は先付、お造り、焼き物、煮物、揚げ物、最後に深川あさり蒸籠めしと吸い物というメニューで、ボリューム・味ともに申し分なく、そのうえ飲み放題(酒、焼酎、ウイスキーなど結構いい銘柄がそろっていた)ということで、参加者一同大満足の様子であった。

帰りは門前仲町の商店街や隣の駅の月島などで、下町情緒たっぷりのショッピングを楽しみながら三々五々帰宅についた。

村野 建彦 記



久しぶりのグルメ会に参集した20名のくいしんぼたち

<ウォーキング&山歩き部会>

臨時開催 第3回ウォーキング(H31.3.13) 高尾梅郷、木下沢(こげさわ)梅林 活動報告

寒さで引き籠って過ごした冬が去り、待ち望んだ春が一気に訪れたかのような陽光が降り注ぐ快晴の下、総勢10名(男8、女2)で出立。グルメの会との重なりを避けて、開催日を水曜日に振り替えた結果が好天を呼び込んだ一方、参加者が少し寂しいことになったようだ。JR高尾駅から、4.5kmにわたり点



木下沢梅林にて

在する梅の郷を、片道2時間ほど、ゆったりとして梅見するウォーキングを開始した。(木下沢梅園迄のバスもあるが、今回は利用せず)

木下沢梅林へと続く高尾梅郷は、初耳という人が多いようだが、知る人ぞ知る梅見の里だ。関東三大梅林には諸説あるが、ほぼ定説となっている越生(おごせ)梅林(H29.2.27 ウォーキング実施)と水戸市の偕楽園の二つの他、三つ目に、小田原市の曾我梅林、安中市の秋間梅林、熱海梅林が挙げられている。関東ナンバーワンの梅林だった青梅の吉野梅郷が、2014年にプラム・ポックス・ウィルス病のため全伐採となってしまうという悲しいニュースがあったが、高尾では元々旧甲州街道沿いに点在していた梅をボリュームアップするかたちで1960年代から植樹を始めて梅郷を造ってきた。私見だが、高尾梅郷・木下沢梅林が三大梅林に名を連ねる日も近いのではないだろうか。

歩き始めて15分程後には、現実を離れた別世界に入り、小仏川の堤に植生された「遊歩道梅林」の白い花の屋根の中を歩いていた。ここを抜けて、小仏川に沿った旧甲州街道を跨いで、駒木野の関所跡地にある「関所梅林」で小休止。再び小仏川を越えて、谷の斜面を埋める「天神梅林」では、梅の香を浴びながら筵を広げて憩う人々の中を縫い、咲き乱れる花の中を泳ぐようにして、花と香を楽しんだ。この先、「湯の花梅林」を遠くに見て、道に沿って咲く梅の花を愛でながら、旧甲州街道の小仏峠方向への上り坂を約30分、この日の最終目的地、約1,400本もの白梅・紅梅が咲く梅の里「木下沢梅林」に到着。下段の梅、中段の梅、小さな広場を含む上段の梅、3つのゾーンに満開の梅が、その自慢の香と共に出迎えてくれた。

「君ならで誰にか見せん梅の花 色をも香をも知る人ぞ知る」 紀貫之(古今和歌集)

こうしたロマンチックな想いに浸るのも、梅見の喜び。そして、澄み渡った青空の下での持参の酒が、花による眼と鼻の保養を加えて、「五臓六腑に染みわたる」とはこのことであつたか。昼食のコンビニのお握りに、満漢全席に劣らぬ美味を感じたのも、小生だけではなかつたでしょう。東久留米に帰り、恒例の打ち上げで喉を潤した。

注：木下沢梅園は、花の咲く3月の特定期間だけ無料開放され、他の期間は閉鎖される。

『甲州街道を歩く』第13回(3月18日)

牧之原→台が原→JR 富士見駅

冬に代わって春の到来を漸く感じられた日、総勢5名(今回は男のみ)は、特急「あずさ」から乗り継いで、甲府駅から6つ目のJR日野春駅(標高615m)に降り立った。駅は八ヶ岳の大崩壊による「葎崎岩屑流(七里岩)」が造った崖の上に位置していることから、凡そ100m下の釜無川に沿った甲州街道の前回最終到達点、牧之原交差点までタクシーで下り、ここを今日の出発点とした。この日の行程は、途中で最寄りの駅が無い為、これまでで最長である20kmを超え、後半は標高956mの富士見駅(標高差400m超)への登り坂が続くタフなウォーキングである。

コース前半は、抜けるような青空の下、左手に甲斐駒ヶ岳が迫り、右手少し遠くには南八ヶ岳が望まれ、併せて100万\$の眺望に恵まれた上、旧甲州街道は現在の国道20号線を縫うように走って自動車の往來を避けており、ウォーキングを大いに楽しむことが出来た。

甲斐駒ヶ岳に源を発し、白州町が世に誇る清流尾白川に掛かる橋の袂にある甲州街道古道入口「はらぢみち碑」から、今に残る小道を辿り「台が原宿」に至る。白州の名水が産んだ江戸時代からの山梨銘醸「七賢」蔵元(近くにサントリー白州工場もある)と旧旅籠の建物を使った信玄餅の老舗「金精軒」を訪れ、各自、それぞれで土地由来の名品を土産として購入した。



甲州街道古道「はらぢみち」



台が原宿入口

七里岩と別れると、街道は左右の景観を見渡せない。山あいを走る国道20号の歩道を辿ることになり、自動車騒音と風圧に併せてJR富士見駅に向けての上り坂がかぶさってきた。「蔦木宿」の本陣大阪屋跡のある上蔦木を過ぎると、目ぼしい遺跡等もなく、最終目的地を目指して歩を稼ぐだけとなり、残りの行程を1時間半超、足を棒にしてJR富士見駅に辿り着き、20km超の長丁場の実感となった。

汽車の本数が少ない富士見駅から鈍行で小淵沢駅へ、そこで特急に乗り換え、幸いにも乗客の疎らな車内で酒を酌み交わし、疲れた身体を慰めた。

(※ 4月15日16日に実施した「甲州街道を歩く」の報告は次号の掲載といたします)

第71回 ウォーキング (H31.4.1 幸手(さって)権現堂桜堤)の活動報告

好天に恵まれての関東有数の桜の名所探訪ということで、総勢 23 名(男 17、女 6)参加の盛会となった。東久留米から約1時間半、武蔵野線、東武スカイツリーライン(旧伊勢崎線、旧日光線)を乗り継いで幸手駅に降り立った。

幸手は、古くから利根川水系による河川舟運と鎌倉街道中道の人往来で交通の要衝として栄えてきたが、特に江戸時代に日光街道(日光道中と言った)が整備されると、幸手宿が設けられ、将軍の日光御成道との結節点としても重要な地となった。権現堂堤は、利根川の本流又は支流であった権現堂川(現在は中川)の氾濫から江戸を守る為に16世紀末に築かれ、明治期には新堤が造られて天皇が行幸された。



幸手権現堂桜堤 ピンク色の枝垂れ桜の前で記念撮影

利根川の改修により堤の重要性は薄まったが、明治天皇の緑の聖蹟であるこの堤を後世に伝えようと桜の植樹が始まり、現在、権現堂桜堤は約1kmに亘り1,000本超を数える桜並木の名所となった。今に残る日光街道の幸手宿跡を歩き抜けること約30分、ピンクのボールに覆われた堤が見えてきた。堤に登ると左右に満開の桜のトンネルが続いており、川原を見下ろすと菜の花の黄色の広がりが見事に飛び込んで、桜のピンクとのコン美ネーション(造語)が見事に描かれた一幅の絵画となっていた。堤に沿って、平日にも拘わらず花見客が溢れており、我々も僅かな隙間を見つけて宴の筵を広げ、穏やかに和みながら、花見を満喫した。

折からこの日は、新元号「令和」が発表され、平成時代の最後の1ヵ月を残す日である。

「さまざまの事おもひ出す桜かな 芭蕉」

ベルリンの壁崩壊が冷戦終結と共に未来への希望を抱かせた平成元年ではあったが、国内は、バブル崩壊(H3年)に続く失われた10年が後を引き、今でも長期経済低迷から抜け出したという実感に乏しい。阪神淡路大震災(H8年)、東日本大震災(H23年)等々と未曾有の大災害にも襲われた。平成30年間を振り返って、明るい思い出に乏しいことを寂しいと感じ、令和に明るい時代を期待する方も少なくないのではないだろうか。

「降る雪や明治は遠くなりけり」、中村草田男は昭和6年に、明治から大正を経て昭和へのあらい難い時の流れの感慨を込めて、懐かしさに浸りつつ詠じているが、現稲門会の世代は、「——昭和は遠くなりけり」と感嘆することは出来ても、平成を同じ心地で嘆じるには未だ早いし、機が熟する頃はもういないだろうと、よしなしごとを思いやっていた。

東久留米に戻り、現実に帰って、大勢で打ち上げにのめり込んだ次第である。

東海 俊孝 記

＜太極拳部会＞ 3月30日(土) 「桜の下で大稽古」

3月30日(土)は、当会恒例の「花見で稽古」です。会場は成美教育文化会館プレイルーム。伝統の野外稽古も、雨や寒さなどの天候に左右されない室内稽古と変えてみました。全国一早く満開宣言の東京。東久留米は都心部よりやや遅れて7分咲き程度。市内でも有数の桜の名所、成美会館、なでしこ幼稚園の桜です。

今年は3月末に気温が下がり開いた花もそのままキープ。 当日最高気温13度という外気は肌寒いが、たっぷり暖房のきいた室内は、半袖の稽古着1枚、気合十分、激しい稽古で汗を流した。午後の部は、花見の宴。部会員以外からも多数ご参加いただき、宴の開始。多くの方から各地の銘酒、名物、さらには、心のこもった手料理など差し入れも沢山いただきました。鮎貝さんの乾杯の音頭を皮切りに戦闘開始。角上の特上寿司を口に放り込み、旨うま料理に頬は緩みっぱなし。



恒例の太極拳「花見で稽古」にご参集いただいた皆様

部会員以外からの参加者の皆さんの楽しい自己紹介、対抗して女性軍も一人一人超絶アピール。和気藹々熱のこもった語り合いに時の流れも忘れ、春の夕暮れを迎えました。締めには全員テラスに出て桜の花の香りを楽しみながら記念撮影、高らかに校歌を響かせました。

渡辺 真司 記

＜ゴルフ部会＞ 4月23日(火) 春の稲門会コンペ

4月23日(火)玉村ゴルフ場にて春の稲門会ゴルフを開催しました。暖かく天候に恵まれた絶好のコンディションの中、新緑のまぶしい木々に囲まれ楽しくラウンドできました。12人が参加し、このメンバーでは最若手の二人で49年卒の金子が優勝、準優勝は小野さんでした。3位は村野さんでした。ベスグロは清水さんでハンデに恵まれずに4位と昨年に続いての連覇はのがしましたが、病み上がりとは思えない活躍でした。

6月14日(金)は三田会との対抗コンペが飯能グリーンゴルフで開催されます。今回は30回の記念大会となるので東久留米に戻って懇親会も予定しています。 金子 孝司 記





春の稲門会コンペに参加の面々

<俳句部会>

第224回 3月17日(日)

兼題：水温む 芽一切 席題：死亡に関すること

<高点句>

| | |
|---------------|-------|
| 水温む鼻歌まじりの厨ごと | 三浦洋子 |
| 小魚のきらりとひかり水温む | 橘優治 |
| 木の芽から木の芽を伝う雨雫 | 比護喜一郎 |
| 本当の空を探して木の芽吹く | 片平るみ |

<自選一句>

| | |
|------------------|-------|
| 葬列の行きすぎにけり花の下 | 杉本達夫 |
| 亡き母の杖を携え花の下 | 大久保泰司 |
| ひっそりとビルの裏手の木の芽かな | 神田尚計 |
| 木の芽するすりこぎの音厨から | 川島知子 |
| 花咲く前逝きし友がき不粋なり | 馬場清彦 |
| 芋の芽や独り暮らしの厨隅 | 川俣信子 |
| 水温みつま先だちて子ら遊ぶ | 横田慧子 |
| 水温む何やら萌ゆる水の底 | 安宅武一 |

第225回 4月14日(日)

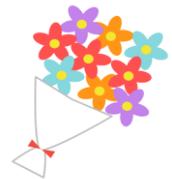
兼題：雪柳 春塵 席題：花束

<高点句>

| | |
|-------------|------|
| 春塵や旧街道の写真館 | 神田尚計 |
| 廃屋のひと山の古書春埃 | 杉本達夫 |

<自選一句>

| | |
|----------------|-------|
| 春塵や令和を告げる夕刊紙 | 川島知子 |
| 花束を空高く投げ卒業す | 川俣信子 |
| 雪柳セーラー服の君弾む | 橘優治 |
| 雪柳稽古帰りの娘の腕に | 馬場清彦 |
| 咲き満ちて空に散り行く雪柳 | 片平るみ |
| 菜の花や陽の温もりも花束に | 大久保泰司 |
| いささかの買い物すまし春埃 | 比護喜一郎 |
| 春塵もおおいつくせぬ廃炉かな | 三浦洋子 |
| 花束を抱えて笑顔一等賞 | 安宅武一 |
| 雪柳川面に映えてなお続く | 横田慧子 |



片平るみ 記

部会だより

<ウォーキング&山歩き部会>

○ウォーキング番外篇 甲州街道を歩く 第15回【日本橋→内藤新宿】8.7km

日時：5月13日(月)9時 東久留米駅改札口集合(小雨決行)

*「甲州街道を歩く」は内藤新宿から出発しましたが、

日本橋からの都心部分を歩きたいという要望が多く、

今回の開催をもって、「甲州街道(甲州道中が江戸時代の正式名)を歩く」の終了とします。

**これまで、参加されていない方も、参加を歓迎します。



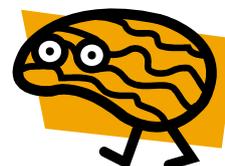
○ウォーキング&山歩き(第72回) 早大所沢キャンパスを見学、後は2通りを選択

日時：6月17日(月) 小手指からバスを利用

所沢キャンパス→狭山湖 →八国山→北山公園(菖蒲鑑賞) →東村山駅 11km程度

↳西武球場駅から帰宅 6km程度

*キロ数には、所沢キャンパスの見学を含まない。



東海 俊孝 記

○ウォーキング&山歩き(第73回) 入谷鬼子母神(JR 鶯谷から3分) 朝顔市

日時：7月18日(月) 6時台前半に東久留米出発

<映画鑑賞会> 第64回 5月30日(木)14時～

於：成美教育文化会館 【再掲載】

「汚れなき悪戯」 (1955年 スペイン 91分)

監督 ラディ斯拉オ・ヴォホダ 出演 パブリート・カルボ

音楽 パブロ・ソロサバル

イエスに対してのマルセリーノ少年の誠実な愛は、それが悪戯に見られようとも責める事はできない、深い感動を呼び起こします。宗教を乗り越えて、見たことのない母親に会いたいとの一心で神のもとに召され悲しみの涙を流すより愛の感動から流れる涙が、この映画には最も相応しい。この作品は宗教を乗り越えて人の心の優しさを示した珠玉の名作である。

1955年カンヌ国際映画祭特別子役表彰、ベルリン文芸映画普及協会賞

1957年キネマ旬報外国映画ベストテン第8位



映画鑑賞会 記

<野球早慶戦観戦部会> 6月1日(土) 第1戦観戦

春季リーグ戦は4月13日開幕。昨年、春5位・秋2位の成績でしたが、早慶戦は春秋ともに勝ち点を挙げました。小宮山新監督の手腕に大いに期待が掛かります。飲み物・おつまみ・お弁当持参で内野の良い席で観戦の予定です。昨秋は5名参加で楽しい観戦が出来ました。高橋会長曰く「私が行った試合はこの頃連勝中！」乞うご期待。

1. 日時：6月1日(土)

2. 集合場所・時間：東久留米駅改札口 午前10時25分

時間厳守(10時33分新木場行乗車予定)

3. 費用：入場料+交通費+お弁当、飲み物(各自で)

4. その他：今回は、第1戦の観戦になります。雨天は中止にします。

※優勝が懸かり混雑が予想される場合、集合時間を10時にします。

連絡先：山口謙二 TEL042-425-2915 Mail: yiu23466@nifty.com



山口 謙二 記

東稲広報室

<新入会員>

青木佑介さん (H27 人科) 新年会にご出席いただきました。

山口美和子さん (S50 教育) 山口謙二事務局次長の令夫人。

菅原和信さん (未確認)

新入会のみなさま、入会ありがとうございます、大歓迎いたします。是非部会活動にもご参加ください。



<訃報>

松田博雄様 (28年 政経)、3月9日ご逝去 (享年 88歳)。弔意規定により当会より生花をお供えいたしました。心よりお悔やみ申し上げます。なお、ご遺族より当会に対し 10万円のご寄付をいただきましたのでご報告いたします。

<会員名簿作成にあたり、個人情報非開示希望の確認>

7月の「東稲ニュース№107」と同時に「会員名簿」を印刷/配付いたします。つきましては、個人情報非開示希望の確認を致します。掲載項目「住所・電話番号・卒業年度/学部」の各情報の中で、非開示を希望する項目がある場合は、5月末日までにその旨を事務局までご連絡ください。

<年会費の支払>

当会年会費は¥3,000 です。今年度分未納の方、5月末日までに納入をお願いいたします。「郵便貯金通帳」をお持ちの方でしたら、郵便局の ATM で送金(振替)すれば手数料が¥0 です。下記いずれかの口座への送金(振替)を行ってください。

★東久留米稲門会口座 【預金種目】通常貯金 【記号】10000 【口座番号】23286841

★払込取扱票振替口座 【記号】00100-6 【番号】11607 【加入者名;画面】東久留米稲門会

<Table For Children>

3月12日(火)、滝山子供食堂へ8,000円を送金いたしました。これからも皆様のご協力をお願いいたします。 河村 洋子 記

<総会懇親会、特別会計収支報告>

4月21日(日)開催の「総会懇親会」の収支は以下のとおりでしたので報告します。

[収入] 会費…156,000円 (会員52名×会費3,000円)

[支出] 飲食費…141,776円 会場費(什器・備品含む)…16,850円

[収支] 2,626円の不足…本会計「イベント補助金」から補填しました。

会計幹事：清水

<東久留米「お得情報」提供のお願い>

「東稲ニュース」の編集制作を、編集委員会を組織して新しい体制で行うことになりました。紙面も刷新予定です。新企画として、東久留米での生活上の「お得情報」を連載したいと思います。会員のみなさまから情報提供いただき東稲ニュースの中で、それらの「お得情報」を掲載し、広く会員の皆様と情報共有できるようにしたいと思います。どこのお店が美味しい、〇〇医院はととても親切、△△店は◇◇が安い、等々のお得情報のご提供をお願い致します。情報の性質上多少主観が入っても可です。

編集委員の有賀、片平、前川、小山田宛、そっと教えてください。

東稲ニュース編集委員会

<会員リレーエッセイ> ~噴水広場~

「バスケットが好きだ、いや、愛してる！」

—テレビコマーシャル体験—

2008年大学院スポーツ科学研究科修了 有賀 千歳

11月中旬のある日、予めから登録してあるS社の人から「バスケのコマーシャルが企画されているがオーディションを受けてみませんか？」という誘いがあった。その時は、以前経験した車いすのバスケのコーチ役かなと思った。たまたまオーディション予定日が空いていたのでバスケのできる支度をして、新宿の某ビルの屋上にあるバスケットコートに向かった。会場に着くとスタッフの男性が声をかけてくれた。「有賀さんですね。聞いています。スタッフが揃うまでバスケコートでアップしてください」。早速、更衣室でバスケのできる支度をし、コートの横で会社から支給されたアンダーアーマーのバスケットシューズを履いて順番を待った。コートには私と同年齢くらいの男性がハーハーいいながらバスケの1対1をしていた。そのうちに私の順番になった。まずは、右からのドライブ、次にフェイクを入れてくれと言われた。次はアリュープ、空中でのフォローアップシュートのことだ。タイミングを合わせるのが難しい。最後に190cmくらいある人との1対1。どうも彼はBリーグ選手らしい。思ったより緊張はしなかったが、相手は流石にプロ。必死になり色々なプレイを駆使して挑戦したが、クリーンシュートは決められなかった。失敗しても落胆することはなかった。「有賀さん、もういいですよ」。スタッフのその言葉でオーディションは終了した。「お疲れさまでした。結果はまた後で連絡します」と言われた。帰り支度をして帰るとき、私と同じようにオーディションに参加する人とすれ違った。「オーディションの時間をずらしているのだ。一体何人ぐらいが受けているのだろうか？今回は、コーチ役ではなく、プレーヤー役だったのだ」。少々当ては外れたが、今の年齢からして最善は尽くしたと思い、会場を後にした。屋上から下りエレベーターに乗る直前に、一人のスタッフが、駆け寄ってきて「有賀さん、なかなか良かったですよ」と言ってくれた。

約1週間後に審査結果のメールがきた。自信は全くなかったが、合格通知だった。S社のCMだという。家族に話したら爆笑された。「白い犬の役かもよ」…「それは言い過ぎだろう」と言い返したが、まんざらいやでもなかった。

11月27日、オーディションと同じ会場でスタッフ、出演者の顔合わせと撮影のための練習があった。午後からだった。出演者全員は揃わなかった。出演者の足りない箇所は、制作会社の人が入って撮影のための練習が始まった。私の役は「昭和風のラーメン屋のおやじ」であった。

シナリオは以下の通りである。「S谷のセンター街、主人公はサラリーマン。夜遅く歩いているとバスケをやっている若者グループに出会う。その中に自分の娘がいた。こんなに夜遅く、しかもこんなところで…サラリーマンは、若者たちにバスケの対決を挑む。1対1でコテンパンに負け、ノーマークで決めたつもりのシュートも見事ブロックされる。路上に倒れているところにおっさん4人が集まる。フリーター（麒麟の田村氏…お笑い芸人）、電気屋（タレント）、ラーメン屋のおやじ（私）、IT会社社長（岩手県のバスケスクールの指導者）。いずれも元はバスケの達人。勝って調子に乗る若者たちにおっさん5人がバスケの試合を挑む。5人はNBA選手並みのテクニックを駆使し、最後は若者相手にダンクシュートを決めて勝つ。そして、若者たちと和解。”バスケが好きだ、愛している”をお互いに声をかけ、おっさんたちは仕事場に戻る」。そのような内容である。「S社はバスケットボールを支援していますよ」が最後のS社からのメッセージ。

事前練習は、シナリオに沿っての部分練習。ピック&ロールを仕掛ける部分、ヘルプディフェンス、スクリーンアウト、ノールックパス、ドライブからのステップインシュートなどでした。私は、緊張していたためかあまり疲れなかった。撮影は、その日の夜中にS谷センター街で行われるといわれた。メイクや衣装を決めるので0時30分にH宿のスタジオに来てくれと言われた。夜中撮影するので、仮眠をとり一度自宅に戻ることにした。

その日の夜の11時30分過ぎ自宅を出てスタジオに向かった。H宿駅の改札から15分歩いたところにスタジオがあった。中に入ると他の出演者のメイクが始まっていた。「麒麟の田村がいる！」練習には来なかったがフリーター役で出るようだ。私のメイクが始まった。「昭和風のつけ麺屋のおやじというイメージかな！」。私のメイク担当者に責任者であるだろうリーダー格の男性がアドバイスした。「顔は黒く、脂ぎった感じに。ほうれい線を濃くして老けさせてくれ」。私の顔はどんどん変化して本物のラーメン屋のおやじに変化していった。最終チェックはリーダー格の男性が行い、3か所から写真を撮



このオヤジたちがストリートバスケットで若者に挑む 左から2人目 鉢巻をしたラーメン屋のオヤジが私

られた。これは撮影時のメイク直しの時の参考にするのだそうだ。衣装はいたって簡単だった。厚手の白いハチマキ、黒の長袖のTシャツの上に半袖のTシャツを着て、ゆったりとした黒いズボン、商標の入った紺色のエプロン。それらはみなスタジオにサイズ別にあった。足りない場合は買いに行くそうである。支度が終了して、お弁当を頂き、タクシーに乗り、S谷センター街に着いたのは午前2時。いよいよ撮影開始だ。S谷の街は夜中でも若者が溢れている。通行人に協力を求めて撮影が始まった。エキストラも100人程度いた。カメラマン、監督、ディレクター、音響の人すべての人は拘りが強く、自分が納得するまで繰り返し撮り直す。一場面数回で終了なんてとてもあり得ない。撮影で合意形成が得られないときは、20分、30分平気で中断する。寒い外で待機したり、待機所として借りていたカラオケボックスで休んだりしながら撮影が終了する早朝まで時間は長く感じた。始発電車が走るところセンター街での撮影は終了したが、まだ戻ってくる可能性があるという。

その日の午後、神奈川にあるスタジオで撮影の続きを行うといわれた。いったん自宅に戻ると休養する時間がないからという理由でホテルに連れていかれた。ホテルで約3時間仮眠をとった後、スタジオに移動した。移動時間は1時間、スタジオに着いたのは13時を回っていた。スタジオで食事を頂いた後、スタジオでの撮影が始まった。スタジオには何でもあった。バスケットゴールも作られていた。できるだけCGを使わず演技させないと真の迫力が出ないということで、何度も同じことをさせられる。完璧なプレイ技術を求められると言った方がよいのかもしれない。スタッフも演技者も追い込まれる。夜中の12時までには終わらなかつたら、またS谷のセンター街に戻ると言われた。最後のダンクシュートの場面は何回やったかわからなかった。主役のサラリーマンの手は切れ、針を打っての演技続行だった。疲れてくるとジャンプもできなくなる。みなへとへとになりながらも励ましあい続けた。夜中の12時前にすべてが終了した。

今回の体験を通して、CMの世界の一部を知った。どんな仕事も半端な気持ちではできないことを改めて感じた。次回もチャンスがあったら、いろいろな役に挑戦したい。

今回のCMは、YouTubeで見られます、「We love this game」と検索してください。地上波でもフジテレビ等で流れることがあるそうです。今年の12月まで放映されるそうです。



<編集後記>

今号の制作作業中に平成から令和に移行。昭和⇒平成の時のように「崩御」を伴わないため祝賀ムードが盛り上がっている。自分では「昭和の人間」と思っているが、実は人生の半分近くの30年間は平成時代だった。何だかあつという間に駆け抜けてきた印象。令和が災害のない穏やかで平和な時代となることを切に願う。次号から編集委員会による編集体制に。少しずつ紙面刷新予定。乞うご期待!(朋)